

# 第24回 川西市展入選目録



特別賞 青木賞

工芸の部  
「祭りだワッショイワッショイ」  
乾 恵 (大阪市)



特別賞 平通賞

日本画の部  
「幻華 (げんか)」  
尾崎 智也 (豊能町)

部 門 洋画 日本画 書 彫刻・立体造形 工芸 写真 現代美術

入選作品 平成28年2月9日(火)～2月13日(土)  
展示期間 午前10時～午後5時 (最終日は午後3時まで)

会 場 川西市文化会館・中央公民館 1階、4階

主催 川西市

洋画の部

一席 いろどり 稲垣 恭子  
彩



二席 ジムノペディア女と男 早川 博唯

三席 年輪 川端 節子

奨励賞 展覧会の準備をする人達 前尾 進

奨励賞 捨てられたドール 岡島 信博

奨励賞 もんぜんちょう 狩山 博臣  
門前町

奨励賞 車庫の風景 恵村 順次

奨励賞 裏通り 引地 新一

奨励賞 晩秋 松本 和子

奨励賞 鮭の恵み 中塚 昭子

奨励賞 産業道路 清瀬 有希

奨励賞 ドック 浦 政一

入選 蓮 竹尾 勝

入選 薄れゆく風景 野村 和男

入選 SUMMER TIME 寺下 幸世

入選 清流に憩う 戸田 勝

入選 擬態(ベニシタバハゴロモ) 岩永 浩明

入選 朝の街路 淀井 多美子

入選 南国のふたり 黒部 正也

入選 ゆいまこじぞう 南 清七郎  
維摩居士像

入選 蔵造りの老舗 赤尾 正武

入選 NOTRE-DAME パノラマ風景 中谷 幸雄

入選 秋陽 藤岡 祐

入選 雨の後 梅本 順子

入選 気の向くままに 太田 連

入選 引き潮 本土 彰

入選 五月 葛城 英樹

入選 しゅいろ 山崎 由香子

入選 冬景色 北中 良輝

入選 AZEKURA 岡部 弘道

入選 ひょうたん 萬代 伸子

入選 大樹 藤田 勝弘

入選 おひさま、キラリ 広瀬 敬三

入選 里山秋景 平尾 實

入選 ちょうりゅう 高井 勝  
漲流

入選 抱く女 坂本 順子  
ひと

入選 にちようの朝 中島 広子

入選 椅子のあるデッサン 正木 みつ子

入選 守護神たち 向井 勇治

入選 亀岡, ドゥリムトン村 友近 一郎

入選 コバルトの夜に 川崎 新子

入選 橋かかる 森本 功

入選 舟歌(ヴェニスにて) 岩井 早苗

入選 赤いハイヒール 城尾 一郎

入選 デカボ湖畔にて(NZ) 小室 浩士

入選 かまど 北村 良江

入選 若い人 福田 昌子

入選 旅のひとつとき 塚本 厚子

入選 航海の記憶 井本 雅夫

入選 秋の調べ 上田 順子

入選 廃線跡トンネル 小川 睦子

入選 不動滝 中尾 昇二

入選 中世の街で 安田 賢二

(次頁に続く)

## 洋画の部 (つづき)

入選	神秘の世界	中川 美子
入選	帰路・アッシジ	村上 綾子
入選	民芸品を売る少年	伊与田 真実
入選	ひるさがり	野口 睦枝
入選	青天の霹靂	寺坂 瑠菜
入選	能勢電の通る鉄橋	新土井 美賢
入選	雪見る白兔	友野 文香
入選	京都発電所	花井 紗代子
入選	樹間	西川 喜雄
入選	熊野の樵夫	鈴木 美代子
入選	うつせみ	車谷 孝男
入選	くり	山下 武二
入選	ぬくもり	森岡 たつ美

### 講評 藤本 元美・尾島 守

今回は出品点数が多く、選考に時間を要した。画題も、風景、人物、静物、空想画などバラエティーに富んでおり、見ごたえがあった。

時代の流れか、油絵より水彩画やアクリル画が増え、今後は、時代に合った技法や画題を迫る姿勢が大切だと思う。

一席「彩」は、落ち葉や枯れ枝のある静かな水面を、淡い色調で詩情豊かに表現している。水の冷たさ、静寂感などがよく表れており、日本人の俳句に通じる作品となっている。

二席「ジムノペディア女と男」は、デジタル絵画であろう2枚の作品をつなげて1作品としたこの絵は、色のコントラストが美しく、リズム感もあり、見る者をしっかりと楽しませてくれる。執拗に描かれた文様も、うまく画面構成している。

三席「年輪」は、チェーンソーで切ったような丸太の切断面に当たる光が、木の質感や量感を感じさせる。丸太全体の奥行きや量感に物足りなさを感じるが、奥の雪とのコントラストも美しく、迫力のある作品となっている。

## 日本画の部

一席	げんか 幻華	尾崎 智也
	<平通賞>	作品の写真は表紙に掲載
二席	彩夏	永井 光春
三席	初雪	井原 正芳
奨励賞	ガジュマル	田島 尚子
奨励賞	森を照らす	清水 信吉
入選	通天橋	肥塚 隆正
入選	羽子板	堀家 弘子
入選	躍動の一瞬	藤井 安雄
入選	ブナの樹に春がきた	阿久根 記美子
入選	へいばよう 兵馬俑	櫻井 弘司
入選	信州上田の街(真田丸舞台)	田中 政三
入選	1200年の衛	高畑 明夫
入選	緑雨	山本 富美子
入選	南禅寺 水路閣	久保田 忠雄
入選	緑陰	大森 由紀子
入選	思い出のジェルプロアの村 (フランス)	湯川 延子
入選	咲き誇る	山崎 一義
入選	巡冬(カティーナツチヨ山の初冠 雪)	竹澤 弘美
入選	風冴ゆる	砂子 久美子
入選	春映	西垣 和代
入選	夏すずしき	堂本 一子

### 講評 山田 毅・小田 賢

今年の出展者数は、昨年を上回り、市展全体のレベルも上がってきているように思います。全体的に写生を基にした花鳥画の作品が多く出品されていたのも特徴の一つです。

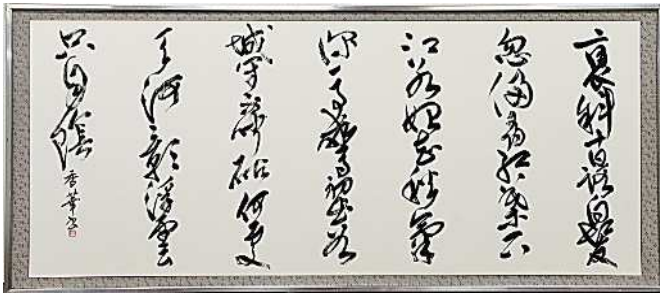
一席の「幻華(げんか)」は、今年最年少の出展者で、白を基調に現代的な感覚で、若さの光る作品でした。

二席の「彩夏」は、バックに銀箔を用いて、日本画独特の装飾的な空間表現に成功しています。

三席の「初雪」は、しっかりと写生をし、細部までしっかり描き込まれていて、南天に対する愛情を感じる作

### 書の部

一席 うるうしちせきほうじょうけんにいたる  
閨七夕 抵襄城縣 王漁洋詩 高橋 香華



二席 雨條烟鋤偃破籬紺芽紅 岩山 青藤

三席 じょうにんらんじゃくをすぎる  
過上人蘭若 森 春洸

奨励賞 さんかしゅう  
山家集 高田 多恵子

入選 ごげきし  
呉激詩 伊藤 倅泉

入選 おうい  
王禕の詩 高木 暎琴

入選 あいこうとう  
哀江頭 杜甫詩 田中 瑞雨

入選 禅語 門脇 里奈

入選 じょぶんし  
徐賁詩 川口 登美子

入選 春の夜の(百人一首) 山根 知香子

入選 万葉集 あかねさす 永田 由香

入選 ほうえんいとく  
報怨以德 福岡 凌石

#### 講評 坪之内 柏舟・柳澤 鳳翔

今年度の出品数は昨年度より少し増えましたが、それぞれに個性ある良き作品が集まり、審査には苦慮いたしました。

一席は、張瑞図風の作で、良くまとめられて空間の取り方もすばらしいです。書き進むに従って調子が上がっていくのが伺えます。

二席は、全体の構成がよく行間のとり方、バランスが良いです。

三席は、七言絶句、濃淡が良く出て線質が力強く、伸びやかにまとめている佳作です。

最後に、入選された作も力作でした。調和体等の作品出品も希望します。

来年度の多数の力作を期待します。

### 彫刻・立体造形の部

一席 オマージュ 蠅タタキと先生 森上 恵子



二席 ぬけガラの形態 大村 洋二郎

三席 種子 - たねこ - 三輪 裕治

奨励賞 釣りどころじゃない、応天門がもえている！ 藤江 昌彦

奨励賞 (生きる)弱肉強食 立川 聡

#### 講評 川島 慶樹・山田 実

今年も出品数は少ないながら、充実した内容でした。

一席の「オマージュ 蠅タタキと先生」は、人形の表現にありがちなファンタジーの世界観を押しつけて、モデルに対する敬意と憧れの思いがすっきりとした形で表現されている作品です。

二席「ぬけガラの形態」は、日進月歩の科学技術の発展に伴い、消えていく多くのものの象徴とも受け取れます。少し残念なのは作品の展示台で、下部から全て同じように組上げられればより明解な作品になったと思います。

三席「種子 - たねこ - 」は、和紙を草木染で着色された、自然素材を用いた表現で、伸びゆく生命力を感じさせることに成功されています。

## 工芸の部

一席	祭りだワッショイワッショイ	乾 恵
	<青木賞> 作品の写真は表紙に掲載	
二席	moment,moment,moment・・・	芦村 美代子
三席	練り込み <small>しのぎもんかき</small> 鋳文花器	井上 雅善
奨励賞	こ小タンス	荒木 三郎
入選	かがり松細工	西村 昇平
入選	花の楽園	上井 学
入選	花器	坂井 直樹
入選	八角印花 花入れ	上杉 和代
入選	路傍の石	西田 眞智子
入選	名刺立て	今川 幸子
入選	<small>はたがしら</small> 旗頭	福西 治作
入選	陶板額「菌類模様2015.12」	辰己 正美
入選	<small>かがみえ</small> 鏡画 碧い寺院	澤山 和廣
入選	差異を越えて	岡村 昇一
入選	陽だまり	吉田 由美子

### 講評 安芸 和美・工藤 良健・渡辺 雅夫

昨年に比べ出品数が増え、工芸らしい楽しい作品も見受けられました。ただ、織作品の応募がなく、平面作品の展示が少し大人しい感じになったのが残念です。

今年は多様な素材を使い表現された作品に出品者の想いを見て取ることができ、楽しく審査させていただきました。

一席の作品は、神輿を担ぐサルの表情と動きが素晴らしく、土のもつ色合いを上手に使ったユーモアたっぷりの作品で、見ていて楽しくなりました。

二席の作品は、白の綿布に携帯端末を使う人々の表情がほのぼのと染められています。一部にオーガジーを使い、モノクロの色使いも手伝って、シュールな異空間を思わせる三部作。これからの作品に期待します。

三席の作品は、色土を使い口クロ成形した時の自然なまざり具合をうまく使った作品で粘土の特性を利用した作品です。

奨励賞の作品は、黒柿を使い堅実に作られています。もっと精緻感が出ればさらに良くなると思います。

## 写真の部

一席	<small>しもばな</small> 霜華	鷺海 一吉
----	------------------------	-------



二席	職人	岡本 武久
三席	根性	横山 周作
奨励賞	争奪	三吉 孜
奨励賞	春吹雪	田中 善
奨励賞	ナイス キャッチ	浅野 三雄
奨励賞	花舞台	栗飯原 誠一
奨励賞	カップル	竹本 賢一
奨励賞	<small>こうき</small> 光輝 千年桜	西村 謙之助
奨励賞	早く々	岩崎 勲
奨励賞	<small>おにや</small> 鬼夜の火祭	森本 孝義
奨励賞	ボクの歳だもん、キーン	小寺 哲夫
奨励賞	静穏	太田 茂範
奨励賞	濫入	井上 隆雄
奨励賞	原風景	近藤 孝典
奨励賞	<small>はな</small> 華	高岡 清
奨励賞	やすらぎ <small>とき</small> の刻	渡邊 雅之
奨励賞	異空間	野村 英勝
奨励賞	プリズム	土井 健一郎

(次頁に続く)

写真の部（つづき）

入選	バブーシュでシュート！！	藤本 昌平	入選	夕やけ小やけ	安達 晴記
入選	宮入り	前田 悦二	入選	雀・愛しいわが子	小西 伸一
入選	防災の日	名知 孝郎	入選	そよ風と私	仁井田 精司
入選	仲間入り	宮脇 雪子	入選	スプラッシュ	長井 伸也
入選	安曇野曙光	直木 嘉也	入選	揺れる樹影	弥田 行雄
入選	只今お花見中	木下 勇	入選	クライマックス	大槻 さか糸
入選	はなうま 花馬疾走	吉原 和孝	入選	ナイス・キャッチ	田中 利明
入選	鎮守の祭り	松本 正之	入選	ときめきの刻 <sup>とき</sup>	武内 俊雄
入選	ひえん 飛猿	常木 良一	入選	松明をかざす童子	仁平 憲雄
入選	夏盆	酒井 美貴子	入選	錦秋 <sup>ぎょう</sup> の行	三谷 浩
入選	光彩	西山 紀子	入選	躍動	中村 敏明
入選	飛翔	奥村 律子	入選	清流	有瀬 清美
入選	熱気に冷水	田中 孝	入選	古都	小池 祥弘
入選	太公望	岡田 秀雄	入選	怒濤	太 健一
入選	ひえいおろし 比叡風	成平 博	入選	ひな祭り	中野 英男
入選	朝霧立つ	芦田 芳郎	入選	信濃路の春	渡辺 聡
入選	宮入りの頃	羽根田 幸男	入選	ちょっと休息	中島 昭子
入選	霧晴れて	新家 弘紀	入選	バランス	中村 敏巳
入選	ならまち爆走	木村 和重	入選	Go Home	濱口 榮司
入選	弾め！未来へ	菅野 みね子	入選	祭り	新 武男
入選	朝の至福	佐藤 千鶴子	入選	再生	竹内 壽一
入選	舞台裏	永野 晃造	入選	初冬の水辺	四宮 泰樹
入選	秋祭り	佐藤 幸良	入選	台風一過	鈴木 基光
入選	守り、伝える	大橋 豊	入選	瀬戸の目覚め	森藤 豊好
入選	荒波	数藤 守治	入選	寒村の昼下り	村山 恵美子
入選	妖精の棲む溪 <sup>たに</sup>	日下部 一一	入選	イイダコ獲り	村山 明
入選	霧の朝	砂田 迪生	入選	秋の夕暮	小原 武彦
入選	ダリヤの光	中原 博史	入選	友禅すそ模様	亀田 喜代子
入選	輝く水面	松井 千寿	入選	樹海	加藤 昭代
入選	かえらず けん 晩秋の不帰の剣	宮地 種光	入選	潮風にさそわれて	山田 純一
入選	ときめく秋色	田島 孝雄			
入選	インバウンズ	田中 富士夫			
入選	秋を乗せて…	清水 晴夫			

## 写真の部 (つづき)

講評 森井 禎紹・辻林 宏一

167点の応募作品でした。多様な被写体と秀作の多さに楽しい審査ができました。しかし被写体に少し新鮮さが乏しく、作者の個性の出た作品が少なかった。また切り取りの甘い作品もありました。デジタルカメラの普及で自家プリント(インクジェット)のためか、仕上げの悪い作品も目立ちました。

一席「霜華」は、氷点下の風物詩、窓ガラスにできた氷結模様が素晴らしい。真っ赤な朝陽に照らされた幾何学模様が一層強烈にしました。条件の良さに加え作者の着眼点、見せ方の上手さに感動した一枚です。

二席「職人」は、この被写体にして、この写し方がされ、作者の個性が出た作品に仕上がりました。モノクロ、フレーミング等、職人技のいい所を垣間見た感じがしました。

三席「根性」は、「やっさい、ほっさい」の火祭りと思います。祭りを熟知され、いい場所からクライマックスの最高の場面を写されました。火の粉に一層迫力を感じました。

奨励賞	内なるもの	簀原 侃子
奨励賞	少女のステキな草ボウシ	竹中 豊秋
入選	つなぐ	高野 暢子
入選	私、いけてるかしら…	岡田谷 美和
入選	王妃達の饗宴	岩崎 浩子
入選	悩める異国の女性	前田 博美
入選	for the world reform Dragon Appear	木村 友紀子
入選	無題	堀江 敦
入選	JAZZ	西川 輝彦
入選	“聴こえている”	尾崎 智也
入選	ベートーベンが聴こえる	氏家 エイ子
入選	置き換える (大震災後も夜が明けるNo.61)	Ms & Mr シュウ
入選	壊溶	久保 茂
入選	無意味に染まる時	桑垣 和弘
入選	互解	鈴木 基光
入選	お モテ男君の悪夢	石田 貢

## 現代美術の部

一席 オコサマ メイド OKOSAMA MADE 大村 洋二郎



二席 よみがえり 命の再生 三木 富美子

三席 Time 板倉 広明

講評 持田 総章・半田 まゆみ

現代美術という領域を担当して、毎年どのような応募作品があるだろうかと大きな期待感で会場へ行く。それは、作者が現代をどのように捉えているか興味を持つからだ。

一席のペーパークラフト「OKOSAMA MADE」は、紙は折ると立つという原初的な条件を踏まえて、素材の日常性を提示する。特に「子供の描いた絵」という大人の持つ郷愁ともいえる幼児性の喚起に強く魅かれた。

二席「命の再生」は、現代の情報の根幹であったともいえる新聞紙を素材にした作品で、既にその座を電子メディアに奪われた状況が整然と構成されて、観る者の心を打つ。

三席「Time」は、墨液の流れが時を刻む。オーソドックスな手法だが繊細な黒色の流れが目をそらせない。心の時間を観る。

奨励賞の「少女のステキな草ボウシ」は、表現の素朴さが良い。また、今少し空缶の質感が前面に出たら良かった。「内なるもの」は、版画の技法を基底とした作品で、ダイナミックな様相を小世界にまとめたのが良かった。

各部門審査員

(順不同、敬称略)

<洋画>

藤本 元美・尾島 守

<工芸>

安芸 和美・工藤 良健・渡辺 雅夫

<日本画>

山田 毅・小田 賢

<写真>

森井 禎紹・辻林 宏一

<書>

坪之内 柏舟・柳澤 鳳翔

<現代美術>

持田 総章・半田 まゆみ

<彫刻・立体造形>

川島 慶樹・山田 実

特別賞審査員

二元会会長 山本 幸雄

川西市長 大塩 民生

川西市文化協会会長 山崎 清

川西市議会議長 安田 忠司

川西市市民生活部長 大屋敷 信彦

青木賞、平通賞について

特別賞の青木賞、平通賞は、昭和を舞台に活躍された川西ゆかりの芸術家に因んで名づけられました。

青木賞は、青木大乘(あおき だいじょう)画伯の名前をいただきました。青木画伯は、明治24年大阪に生まれ、新燈社洋画研究所、卯木に大日美術院を開き、洋画から日本画へと世界を広げました。戦後、川西に移り住んで創作活動を続け、昭和54年に亡くなりました。

平通賞は、平通武男(ひらどおり たけお)画伯に因んでいます。平通画伯は明治40年大阪に生まれ、新燈社にて青木大乘画伯に師事。東光会審査員から日展審査員へと洋画の世界で活躍を続け、戦後は川西に住まわれ、日展参与となられた後、平成3年に亡くなりました。

両画伯のご遺族により、川西市に青木大乘画161点、平通武男画146点の絵画が寄付され、川西市郷土館内に両画伯の記念館「ミュージーゼ レスポール」が平成7年に開館し、両画伯の絵画を鑑賞できます。

第24回川西市展応募状況等

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
洋 画	91	66	12
日 本 画	21	21	5
書	12	12	4
彫刻・立体造形	5	5	5
工 芸	17	15	4
写 真	167	82	19
現代美術	19	19	5
合 計	332	220	54